

安全データシート (SDS)

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名 TECAMIN MAX

会社情報

会社名称 味の素株式会社
担当部署 アミノサイエンス事業本部アミノサイエンス統括部
住所 東京都中央区京橋一丁目15番1号
電話番号 03-5250-8111
Fax 番号 03-5250-1104

推奨用途

肥料

使用上の制限

上記の用途以外の使用はしない。

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

分類できない

健康有害性

分類できない

環境有害性

分類できない

GHS ラベル要素

絵表示 なし
注意喚起語 なし
危険有害性情報 該当しない
注意書き 該当しない

他の危険有害性

情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

情報なし

3 組成及び成分情報**化学物質・混合物の区別**

混合物

組成及び成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	濃度又は濃度範囲 (wt%)
グルタミン酸発酵副産液	-	-	79.7
その他の成分	-	-	20.3

本製品は窒素全量 7.0%以上、アンモニア性窒素 3.5%以上を含有する。

4 応急措置**ばく露経路による応急措置**

吸入した場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水及び石鹼で洗うこと。
皮膚に刺激又は発疹が生じた場合は医師の診断/手当をうけること。

眼に入った場合

眼を擦らないこと。
まぶたは開いた状態を保つこと。
出来るだけ早く多量の水で洗浄し、10分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄後、医師の診断を受けること。
口を水で十分にすすぐこと。無理に吐き出させないこと。その後医師の診断/手当をうけること。

飲み込んだ場合

被災者に意識がないときは何も飲ませてはならない。
被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢でやすめること。もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないように頭部をさげること。呼吸が困難なときは酸素吸入を行うこと。

急性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

指定された個人用保護具を使用すること。
口対口法を用いてはならない。
救助者は救助の最中、自身の危険にも注意すること。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5 火災時の措置

適切な消火剤

周辺火災に応じて水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類を使用する。

使ってはならない消火剤

情報なし

火災時の特有の危険有害性

火災によっては刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生する恐れがある。

特有の消火方法

消火活動は風上から行う。

火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。

可能であれば熱でさらされた容器を移動するか水で冷却すること。

消火に用いた水は堰を作って囲い、後で廃棄をし、物質が散らばらないようにすること。

消火後も大量の水で容器を十分に冷却すること。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

火災の規模に応じて防火服や呼吸器、耐火グローブ、保護メガネなどを着用すること。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業時に保護具を着用すること。

作業時に使用する個人用保護具については「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照すること。

適切な保護具を着用せずに壊れた容器又は流出物を触らないこと。

適切な換気を行うこと。

粉じん/煙/ガス/ミストを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める。

漏出した液を容器にできる限り集めること。

乾燥させた不燃性の吸着材を用いて集める（ふき取る）こと。

大量の場合、広がらないように堰を作り、後で廃棄すること。

廃棄方法は、「13 廃棄上の注意」を留意すること。

二次災害の防止策

漏出物及び漏出物処理時の廃液が排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所に流入するのを防ぐこと。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	指定された個人用保護具/保護衣/保護面を使用すること (「8 ばく露防止及び保護措置」参照)。
安全取扱注意事項	屋外又は換気の良い場所で使用すること。 取扱い場所には関係者以外立ち入り禁止にすること。 使用前に説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
接触回避	直射日光、高温表面
衛生対策	作業中は飲食、喫煙をしないこと。 製品の取り扱い後及び飲食の前にはよく手や顔を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から持ち出さないこと。

保管

技術的対策	保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。
混触禁止物質	酸化性物質、強酸、強アルカリ
保管条件	施錠して保管すること。 直射日光を避けて乾燥した風通しのよい涼しい場所に保管すること。 食料や飼料から離して保管すること。
安全な容器包装材料	破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度 (ばく露限界値、生物学的指標)

ACGIH TLV-TWA (2019)	設定されていない
ACGIH TLV-STEL (2019)	設定されていない
日本産業衛生学会 (2019)	設定されていない

設備対策

必要に応じて、取扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための手洗所やシャワー設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具	呼吸用保護具は必ず規格に合致したものを使用すること。
手の保護具	手の保護具は必ず規格に合致したものを使用すること。 (不浸透性保護手袋)
眼及び/又は顔面の保護具	眼の保護具は必ず規格に合致したものを使用すること。 (安全ゴーグル又は保護眼鏡付き防災面)
皮膚及び身体の保護具	皮膚及び身体の保護具は規格に合致したものを使用す

ること。

特別な注意事項

情報なし

9 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	褐色
臭い	特有の臭いを有する
融点／凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	約 112°C
可燃性	情報なし
爆発限界及び爆発上限界／可燃限界	情報なし
引火点	なし（クリーブランド開放式試験において、112°Cにて沸騰状態になったため、以降の試験を中止した）
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	5.5～7.5
動粘性率	情報なし
溶解度	情報なし
<i>n</i> -オクタノール／水分配係数（log値）	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び／又は相対密度	比重：1.2～1.3
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	該当しない

10 安定性及び反応性

反応性	通常の手扱い条件下では安定である。
化学的安定性	通常の手扱い、貯蔵（直射日光の当たらない室温）において安定。
危険有害性反応可能性	通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	直射日光、高温表面との近接を避けること。
混触危険物質	酸化性物質、強酸、強アルカリ
危険有害な分解生成物	火災によっては刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生する恐れがある。

11 有害性情報

製品の有害性情報

急性毒性（経口）	経口毒性推定値（ATE）>5,000 mg/kg
急性毒性（経皮）	情報なし
急性毒性（吸入：ガス）	情報なし
急性毒性（吸入：蒸気）	情報なし
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	情報なし

皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	情報なし
誤えん有害性	情報なし

成分の有害性情報

グルタミン酸発酵副産液

急性毒性（経口）	情報なし
急性毒性（経皮）	情報なし
急性毒性（吸入：ガス）	情報なし
急性毒性（吸入：蒸気）	情報なし
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性	情報なし
皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	情報なし
誤えん有害性	情報なし

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

成分の環境影響情報

グルタミン酸発酵副産液

水生環境有害性 短期（急性）	情報なし
水生環境有害性 長期（慢性）	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし

オゾン層への有害性

該当しない

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

国及び地方自治体（都道府県市長村）の規則に従って内容物及び容器を適切に処理すること。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RIDの規定に従う）

国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

海上輸送（IMOの規定に従う）

国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質（該当・非該当）	非該当
IBC コード（該当・非該当）	非該当

航空輸送（ICAO/IATAの規定に従う）

国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
航空規制情報	該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化学物質排出把握管理促進法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物劇物取締法	該当しない
消防法	非危険物
肥料取締法	肥料

16 その他の情報

参考文献

メーカー提供資料

NITE GHS 分類結果一覧 (2019)

日本産業衛生学会 (2019) 許容濃度等の勧告

ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2019) TLVs and BEIs.

【注意】 本 SDS は、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。